

国土交通大臣に圏央道早期4車線化を要望



7月6日、県西地区首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会会長である木村市長が、桜井市議会議長ほか、構成市町(古河市、常総市、五霞町、境町)のみなさんとともに国土交通省を訪れ、石井国土交通大臣に対し、「首都圏中央連絡自動車道の早期4車線化に関する要望書」を手渡しました。

圏央道は今年2月に県内全線開通となりましたが、県内ほとんどの区間が、いまだ片側1車線の対面通行です。現在、交通量が1日約2万台とかなり多いにもかかわらず、このままでは、事故発生時には通行止めも懸念されます。同盟会では、こうしたリスクの軽減という観点からだけでなく、県西周辺地域の産業、経済の活性化に大きく寄与するため、4車線化の整備は必要であると強く求めました。

今後も、一日も早い4車線化に向けて同盟会の活動を展開しますので、みなさんのご協力をお願いします。

中川小で「地域防災のつどい」開催



7月1日、中川小学校体育館にて、全児童、保護者及び地域のかたを対象とした「地域防災のつどい」が開催されました。

身近な地域の防災活動に関心をもつことで、自分たちにできることを考えるようにすることを目的に、講師を招いての講演では、児童がグループに分かれ避難所運営での課題について話し合い、いざという時の備えや避難所運営の難しさを学びました。また、避難所で役立つ新聞紙スリッパ作りや、災害などの緊急時に確実な引き渡しが行えるようにと、引き渡し訓練が実施されました。